

広報

Town Newsletter

川本と

縁にこだます音楽の里

4

2006

平成18年

April No.420

<http://www.kawamoto-town.jp/>

ホームページでは、カラー写真で記事をご覧いただくことができます。

にゅうがく おめでとう



川本小学校

三原小学校



四月十一日、町内の小学校三校で入学式が行われ、二十一名の新一年生が誕生しました。式では在校生らに拍手で迎えられて会場へ入場。先生に名前を呼ばれると大きな声で返事をして、立派に主役を務めました。教室で先生から教科書などを渡されると、嬉しそうに目を輝かせていました。



川本西小学校

議会

かわもと

お知らせ

きびしい財政事情の中、経費節減のため、限られたスペースではございますが、「広報 かわもと」の紙面に併せて掲載することいたしましたのでご理解を賜りますようお願いします。

No.77

発行
島根県邑智郡川本町川本
川本町議会
TEL(0855)72-0068(専用)
FAX(0855)72-0635
⑨696-8501
編集 議会広報委員会
印刷 佐々木印刷株式会社
発行日 平成18年4月20日

平成18年度一般会計

当初予算 33 億 7千475万2千円

前年度対比 0.5% 減額の緊縮予算

平成18年度特別会計予算

川本町住宅新築資金等貸付事業特別会計	3 万円
川本町国民健康保険事業特別会計	4 億 6 千 496 万 9 千円
川本町老人保健事業特別会計	8 億 6 千 101 万 9 千円
川本町簡易水道事業特別会計	2 億 52 万 0 千円
川本町農業集落排水処理事業特別会計	9 千 272 万 5 千円



5・6年生「レッツ・チャレンジ! えごま商品開発」
(川本町立三原小学校)

こんな議案を審議しました

平成18年第1回川本町定例議会が3月9日から17日までの9日間、開催されました。

はじめに樋口町長から施政方針・坂根教育長から教育方針がそれぞれ発表され、条例案件12件、予算案件9件、その他案件12件の33議案が提案され慎重審議の結果、原案どおり可決した。一般質問は9名から当面する町政の諸問題について質問があ

- 1月17日、平成18年第1回臨時会が開かれ、条例案件1件、その他案件8件が審議され原案のとおり可決した。
- ・川本町スクールバス管理運行条例の全部を改正する条例の制定。

〔平成18年4月1日施行〕

- ・指定管理者制度の実施に伴う次ページ8施設の指定管理者の指定について。

- 2月23日、平成18年第2回臨時会が開かれ、条例の全部改正1件、その他案件2件が審議され原案のとおり可決した。
- ・川本町都市公園条例の制定。

臨時議会

り活発な論議が展開された。一般質問に先立ち、予算特別委員会で18年度予算について審議し、最終日委員長報告の後、採決が行われ、すべての日程を終了した。一

一般質問

に、介護保険組合の広域化を国や県に要望していく。

その他の質問

- ・固定資産税の算定根拠について、全国の地価が下がっているのに当町の固定資産税が下がらないのはなぜか。町広報、ホームページなどで町民に解りやすく説明すべきではないか。
- ・事業に積極的に取り組む。



介護保険と介護予防に対する町の対応を聞く。

桑本健康福祉課長＝介護予防

- ・固定資産税の算定根拠について、全国の地価が下がっているのに当町の固定資産税が下がらないのはなぜか。町広報、ホームページなどで町民に解りやすく説明すべきではないか。
- ・事業に積極的に取り組む。

片岡議員

介護保険料の値上げが予定されているが、今後の方向性を聞く。現在、邑智郡が保険者であるが更に広域な介護保険組合に合併すべきではないか。介護予防に対する町の具体的な取り組みを聞く。今後、介護療養病床がなくなるが、そのための介護難民の受け皿を聞く。

桑本健康福祉課長

国の試算によると今後更に介護保険料の増大が予想される。介護予防事業に積極的に取り組み、増大の防止に努めるととも

瀬尻議員

「川本町は本当に大丈夫なの」と、不安を持つ町民が多い。この町民の不安を払拭して明るい希望が持てるよう早くしなければならない。そのためにも19年度からの財政再建期間を1年



「再建期間」の1年前倒しをしては、

樋口町長＝再建期間の変更はない。

お知らせ

- その他の質問者
- 圓山議員
- その他の質問者の活用について。
- 「高齢者生産活動センター」の今後について。
- 「町政座談会」の今後について。

前倒しして、施策内容についても数値目標を示していく必要があるのでは。

【その他】

（平成18年4月1日施行）

止・認定

- ・町道路線の起点変更に伴う廃止
- ・木路原2号線の廃止
- ・木路原2号線の認定

施設名	指定期間	指定管理者
笠畑農村公園	平成18年4月1日から 平成21年3月31日まで	3年間
因原農村公園	平成18年4月1日から 平成21年3月31日まで	3年間
川本町農林漁業体験実習館 (笠遊里)	平成18年4月1日から 平成21年3月31日まで	3年間
川本町インフォメーションセンター	平成18年4月1日から 平成21年3月31日まで	3年間
川本町総合交流ターミナル施設 (弥山荘)	平成18年4月1日から 平成21年3月31日まで	3年間
川本町地域福祉センター (すこやかセンター)	平成18年4月1日から 平成23年3月31日まで	5年間
川本町介護予防拠点施設 悠湯プラザ	平成18年4月1日から 平成23年3月31日まで	5年間
川本町野外音楽堂	平成18年4月1日から 平成21年3月31日まで	3年間

「自主防災組織」の確立について。

百田総務課長＝各自治会へ要請している。



飯田議員

「自主防災組織」は町民が自発的に防災活動を行う「自分達の地域、集落は自分達で守る」という地域ぐるみの活動だが行政としての指導法を問う。

百田総務課長

12月の自治会長会議で自主防災組織の必要性を申し上げ、その後要請文を送った。結果2自治会が結成に至り、現在ある家庭消防隊を再構築して防災組織を立ち上げる予定が3自治会役員会に諮り、前向きに考えたいというかなりの自治会がある。今後、町民自らの身の安全は自らが守るという防災の観点に立ち、防災学習会などを開催し、引き続き立ち上げの要請を

大畠議員
少子化への対策は、川本町長の最大の任務であると思うが、川本版少子化対策はないのかを問う。

樋口町長
少子化の問題は川本町長のみならず、全首長共通の課題である。民間の方と手を携えながら、川本版ができれば全国のモデルケースとなっていくと思うが、

河田議員
団塊世代の争奪戦について。
樋口町長＝目標を掲げ積極的に取り組む。



川本版少子化対策の検討を。

樋口町長＝具体的な良案があれば提言をいただきたい。

強力にして参りたい。
その他の質問

・「公立邑智病院」の構成町として。

具体的なものとなると難しい。川本町ならではと/orものがあれば、率先して取り組んでいきたい。皆さん方からの提言をいただきたい。

その他の質問

- 農業公社のめざすものは。
- 坂町との姉妹縁組20周年記念事業。
- 地域の安全安心の確保。
- 町観光協会の再構築。

川本町は5年後に4千人を切る可能性が出ているがこれらを打破するために町として全国にアピールする事が必要である。執行部と議会とで研究会など立ち上げ、協議する考えは無いか。

樋口町長＝川本町は5年後に4千人を切る可能性が出ているがこれらを打破するために町として全国にアピールする事が必要である。執行部と議会とで研究会など立ち上げ、協議する考えは無いか。



三原小学校の卒業式

地域包括支援センター設置について問う。

桑本健康福祉課長＝4月1日に開設するよう準備を進めている。



非核・平和の川本町に。

樋口町長＝「宣言」は多くの意見を聞いて判断したい。

青木議員

介護保険制度は4月から一部改正され、高齢者ができる限り「要介護」にならないよう、状態が悪化しないよう町村が一貫性のある介護予防策を実施するのが今回の改正。「地域包括支援センター」を



山下議員
広島・長崎に原爆が投下されて60年が経過した。被爆者の「あの悲劇を繰り返してはならない」核兵器廃絶を求める声となつて広がっている。核兵器を「持たず・作らず・持ち込ませず」の非核三原則を全世界に訴え、戦争の放棄・恒久平和を誓った「平和憲法」により、核

創設して有効なサービスをメニューに取り入れる。現在までの取り組み状況と川本町地域包括支援センター運営委員会の構成を問う。

桑本健康福祉課長

川本町地域包括支援センターを4月1日に開設するよう準備を進めている。運営協議会については設置要項を制定し、4月を目途に準備を進めている。予防事業については力を入れていく。また川本町の1人当たりの医療費は県平均44万5千円に対し、54万円と県では上から3番目に高い。給付費も医療費も下がるよう努力していきた

い。
植田議員
現時点で出来得る最良の環境が与えられているか。また、町兵器をなくす運動はねばり強く続いている。「非核・平和川本町」を宣言することで、平和で安心・安全の町に提案する。



植田議員

人間としての成長過程に大きな問題だと思うが、また、20年度以後の児童数は160人台になる。父兄の意識調査をして、教育の環境を真剣に考えなければならぬ時期が来ていると思う。難しい問題だが、恐れることが少なく議論すべきと思う。

樋口町長
核兵器廃絶は日本の国民の願い。第二次世界大戦を経験した国として当然のことと思う。「非核・平和の町」宣言は、町民・議会・いろいろな人の意見を聞いて判断していきたい。

その他の質問

- ・平成18年度予算と自治体の役割。
- ・情報提供を積極的に行い、川本町のイメージアップを。

町の学童教育の環境について問う。

坂根教育長＝アンケート等実施したい。

内に見られるような極小規模校のメリット、デメリットを問う。校舎等のハード面は良くし始めた。地域の方々に支えられ安全安心な環境が作られている。極小規模校の良い面は、個別指導がしやすい。異年齢の交流が出来る。保護者と意思疎通が図り易い。反面、社会性、人間関係を作ることが育ちにくい。競争心が低下する畏れがある。

坂根教育長



三原小学校の入学式

平成十八年度 町長施政方針

(三月定例議会)

町政運営の基本的な考え方
及びその施策の方針並びに平成
十八年度の主要な事業について
申し上げます。

町政運営の基本姿勢について

まず、私が町長に就任して二
年が経ちましたが、この間、最
重要課題として「行財政改革の
断行」を掲げておりました。住
民募集の行革プロジェクトを立
ち上げ、徹底した行政経費の削
減、町有施設等の改革を訴え、
「対話と実行」によるガラス張
りの町政を目指し、「町民主役
割分担の明確化」をスローガン
に取り組んできました結果、少
しずつではありますが浸透して
きていることを実感しております。
更に特色ある川本町を目指
し、本町が持っている自然環境
の地域資源を有効に活用しながら、
「かわもと『夢と元気』創造
プロジェクトの推進」の実現
に向け全力を尽くします。

財政非常事態回避計画の実施状況と町財政見通しについて

小泉総理大臣は、国会において改革の続行を掲げ、歳出・歳入を一体とした財政構造改革の方向を搖るぎないものとする旨表明されました。また、「地方分権二十一世紀ビジョン懇談会」が本年六月の「骨太方針」をにらんで、自治体の破綻・再建法制の導入や地方交付税の抜本的な見直しの議論を開始するなど、地方財政を取り巻く情勢は、一段と厳しさを増していくことが懸念されます。

昨年十一月末の政府・与党合意による全体像が決定した三位一体改革は、三兆円というかつてない規模の税源移譲の実現という点では評価できるものの、その対象となつた国庫補助負担金改革の大半が、地方の自由度の向上に何ら寄与しない国庫負担率の引き下げで占められるなど、眞の地方分権改革の名に値するとは言い難いものとなりました。

現状での財政見通しとして
は、依然として危機的状況に
変わりはありません。平成十八
年度予算は財政非常事態回避期
間最後の重要な予算であり、行
財政改革に一応の目途をつけ
るものと位置づけられています

が、三位一体改革が完成した平成十九年度以降は、更に厳しい試練を覚悟しておく必要があるとの予測もされ、財政再建は相当険しい道のりであると捉えています。

行財政改革の取り組みについて

町民の皆さんのが参加を得て、平成十六年度から二年間にわたり、本町の財政危機回避に向けた行政組織や事務の見直し、行政経費の節減等小規模自治体となつた本町のこれからの方針について活発なご議論をいたしました。

これを踏まえて策定した行財政改革実施計画は、平成十七年度の取り組みから平成二十一年度までの五カ年の計画とし、掲げた成果目標の達成に力を尽くします。

行財政改革の成果は、計画の着実な実行がなければ達成できません。常に計画の見直しを行なながら厳しい姿勢で取り組む覚悟です。

②観光振興への取り組み

来年には石見銀山が世界遺産登録になります。銀山へのルートとなる本町は、予想される広島方面からの入り込み客の増加をにらみ、新たな町の観光振興への取り組みを進めなければなりません。

特にインフォメーションセンターは、町の特産品等の販売に合わせ、観光客を町内の各施設へ誘導するための情報提供を行

向性であると考えております。平成十八年度は、これの具体化に向けた施策をより踏み込んで推進します。

子供達の健康教育について

は、川本町教育職員研修会健康部会が中心となり、学校と地域と町が一体となつた取り組む体制づくりを進めていますので、更に支援を行います。

また、町民の健康づくりは、食生活改善と体力づくりに重点をおき、生活習慣病対策や高齢者の健康対策に取り組みます。特に食については、地産地消の推進とリンクさせ、野菜作りなどを、生産の場が元気回復につながるような取り組みへとつなげます。また、ウォーキング、ストレッチ体操、プール利用等の運動による健康増進を図ります。

③農業振興への対策

昨年三月に国の新たな食料農業・農村基本計画が策定され、これから施策の展開方向の一つとして、担い手の明確化と支援の集中化・重点化が示されました。

これから農業政策の課題は、いかに担い手を確保するか

であると認識しています。

今後は、農林業の経営基盤化に向けた農地等の集積や高度化がますます重要な取り組みとなります。

こうした状況を受けて、農業公社を中心として、集落営農組織や農外企業、認定農業者などを連携した取り組みを加速させなければなりません。また、そうした体制強化に合わせ、新年度から農業公社に営農指導員を配置し、生産・出荷体制の充実強化にも力を注ぎます。

④定住対策

本町が進める諸施策の成果目

標は、人口減少、少子高齢化への対応としての結果を求めるものです。人口が減少していく傾向で、若者が少なくなることは、将来の生活機能の低下をもたらす。重点的な取り組みが必要です。

そのための取り組みとして、U-Iターン者を一人でも多く呼び込むために、生活できる生業と住宅をセットで提供できる環境を早急につくらなければなりません。

このことは、学校や保育所の生徒、児童の減少が著しい本町としては、喫緊の課題であり、積極的な取り組みを行います。

平成十八年度の主要事業

『国民保護計画の策定』

所管 総務課

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、本町の役割を定める『国民保護計画』を策定します。また、地域防災体制の充実を図るため、各自治会による自主防災の組織づくりを支援します。

『坂町・川本町姉妹縁組二十周年記念事業』
所管 総務課

昭和六十一年十月二十八日に縁組を結んで本年が二十年目の節目となります。五年に一度の記念式典を本年は川本町において開催する予定です。両町の文化、歴史、町政、郷土芸能、スポーツ、教育、経済等交流促進を更に図り、友好関係を積極的に促進するよう支援します。

『元気な集落づくり』

所管 政策推進課

この事業は、学校や保育所の生徒、児童の減少が著しい本町としては、喫緊の課題であり、積極的な取り組みを行います。

この事業は平成十八年度をもつて終了しますので、残る事業費を有効に活用して行きます。

既に平成十八年度で事業に取り組む意向を示しておられる自治会もいくつありますので、全体事業予算枠の中で申請のがつたものから審議会にかけ採択していきます。

計画のある自治会に対しては助言等行いながら、早期の取り組みを目指します。

『総力結集しまね再生事業』

所管 政策推進課

平成十七年度から県の補助を受けて「健康」をテーマとした町の活性化プランに取り組んでいます。平成十七年度は、事業の推進方法の具現化に重点をおいての取り組みでしたが、平成十八年

度は補助の最終年度となりますので、幾つかの成果を求めていく取り組みとなります。

『遊休農地の再生事業』

所管 政策推進課

具体的には、健康ツーリズムの実施、加工品を含めた健康の食づくり、手工芸品等の付加価値化、温泉施設等各交流施設の図り、友好関係を積極的に促進するよう支援します。

この事業は平成十八年度をもつて終了しますので、残る事業費を有効に活用して行きます。

既に平成十八年度で事業に取り組む意向を示しておられる自治会もいくつありますので、全体事業予算枠の中で申請のがつたものから審議会にかけ採択していきます。

計画のある自治会に対しては助言等行いながら、早期の取り組みを目指します。

『町民農園の開設事業』

所管 政策推進課

町民の元気回復として、健康生活、生きがいづくりの場、生産活動の高まりを目的として、尾原地区の高齢者生産活動センターを拠点に町民農園を開設します。

この取り組みは、農業公社が事業主体となり、空き農地を借り入れて使うものです。利用者は町内の方を優先とし町外にも広く呼びかけることとしています。

計画では、農園で収穫された野菜などはインフォメーションセンターへの出荷や学校給食への食材提供も想定しています。

『町観光協会の再構築』

所管 政策推進課

現在、休眠状態である町観光協会を再構築し、交流人口の拡大に取り組みます。

世界遺産登録の動きを契機として、本町の新たな観光戦略に繋げていきます。

『集落営農の組織化の推進』

所管 政策推進課

農業・農村基本計画が策定され、これからの施策の展開方向の一貫として、担い手の明確化と支援の集中化・重点化が示されました。

一定規模以上の経営能力を有する担い手を確保するために、農地の集積と高度利用が可能な条件整備が不可欠です。そのため農業公社が遊休農地を中間保有し、担い手となる農家に対し農地を提供し規模の拡大を図ることや、新規就農者や農外参入企業に農地を提供し後継者の育成・確保を行います。

その具体的な取り組みの一つとして、ほとんどが耕作放棄地となっている三原地区の農地開発地の再生を農業公社を事業主体にして補助事業の導入を行います。

『食農の推進』

所管 政策推進課

昨年から、地元の女性グループを中心に学校給食への地元農産物の供給を行う活動がはじまり、農業公社もこの取り組みを支援しています。

平成十八年度では、子供達にもっと食への関心を高めてもらうために、学校と連携して親子の食の講座や農作業体験を通じた実習の機会を設けるなどの取り組みを計画します。

また、町内施設での地元食材の活用を進めていくために、施設管理者で組織化した施設連絡

会に取り組みへの働きかけを行います。

【道路整備】

所管 地域整備課

町道事業について、平成十四年度から改良を進めている第三期分の町道三島三谷線道路改良工事については、最終年度となる平成十八年度は改良延長百二十六メートル、舗装延長三百五十メートルを行い全線完成となります。完成後は交通の安全確保と利便性の向上が図られ、笹畠農村公園を活用した人の交流など一層の効果が期待されます。

また、町道上因原迫谷線延長四百五十メートル、町道三島山の手線延長百メートルについても、それぞれ平成十八年度より二年間の計画で改良を進める計画です。

県道事業は、継続工事として進められている主要地方道仁摩瑞穂線多田工区の松原橋架橋工事と県道川本大家線、三俣・湯谷間の局部拡幅工事について、引き続き早期完成に向け働きかけます。

また、主要地方道川本波多線上新町・木路原間の現道改良工事については、高校統合の重要路線でもあり本年度より調査設計の運びとなつており、弓市中

心部の歩道整備に伴う県道部分の改良についても、平成十八年度より五ヵ年計画で実施予定となっています。

【農林道事業】

所管 地域整備課

農林道事業については、県営笹畠一般農道整備事業は過年度改良工事分の法面保護工事を主体に施工予定であり、これにより笹畠側の延長千七十メートルが完成し、部分供用開始後には 笹畠クリーンセンターへの接続道として利用が期待されます。

県営林道川本布施線改良工事については、開設延長百二十九メートル、舗装延長百七十七メートルを引き続き施工の計画となっています。

【県営治山事業】

所管 地域整備課

平成十八年度より三年計画で三俣神社裏山一体を林地荒廃防止事業として計画しており、平成十八年度は全体測量設計と一部山腹の落石防止対策工事を行う予定です。

県営地すべり対策事業は、絵堂・莊嚴寺・上組北の三地区が引き続き調査並びに工事が行われる予定です。

タートし、上流側護岸の嵩上げや国道の付替工事が現在三月末を目途に施工中です。

【介護保険事業】

所管 健康福祉課

平成十八年度は八月の山側保安林解除を待つて引き続き上流側国道の嵩上げが施工予定です。久料谷工区においては引き続き継続実施されるよう強く要望します。

【簡易水道事業】

所管 地域整備課

湯谷簡易水道は、例年渇水時期には水不足により水源対策に苦慮しています。この慢性的な不足解消のため平成十八年度より二年間の補助事業により隣接の水源豊富な三俣飲料水供給施設との統合と両地区的の慢性的漏洩消のための配水管更新を行います。

【障害者自立支援】

所管 健康福祉課

「障害者自立支援法」が四月から施行されます。障害者がその人に適したサービスを利用しながら地域社会で自立した生活を営めるよう支援していくために、現行の身体障害者、知的障害者、精神障害者、児童のそれからの福祉法を整理・統合し、障害者に共通の各種サービスを

されます。

【保健事業】

所管 健康福祉課

全体を将来的に安定したものへと転換させるものです。町として「自立支援給付」と「生活支援事業」により、総合的自立支援システムを構築する予定です。

【介護保険事業】

所管 健康福祉課

健康で安心して生活できることは、全ての町民の願いであり、住み慣れた地域に定住するための基本条件となるのです。そのためには、特に「一次予防」に重点をおき、糖尿病、高脂血症など、小児期からの「保健と食」による生活習慣病予防、転倒予防教室では水中歩行を取り入れた予防、ウォーキング協力員養成講座の開催、また、産業祭に併せて行つた「一日まちの保健室」も引き続き予防事業として取り組みます。また、今年度から新しく乳がん検診にマンモグラフィーを取り入れた精密検診を実施します。

【ゴミの減量化】

所管 住民課

平成十六年四月から本格稼働した笹畠クリーンセンターのリサイクルセンターは、住民の

公費負担・医療の一元化に併せて、福祉サービスの提供主体の市町村への一元化を図り、制度

皆さんのご理解とご協力を得ながら、容器包装資材やペットボトルの分別収集を推進しています。

ごみの減量化は、省資源・地球温暖化などの環境問題とともに、多額のごみ処理施設等の運営経費の削減が緊急な課題となっています。現在、コンポスト・生ごみ処理機購入の補助を行っていますが、今後も一層の普及を図るとともに、町民の方々のご協力をいただきながら、ごみの減量化等の推進に努めます。

『地籍調査事業』
所管 住民課
平成十七年度末での調査面積は、八十五・九四平方キロメートルと、調査計画面積に対しう進捗率は九〇・九六%です。

平成十八年度の事業計画は昨年からの継続の芋畠地区の残り分や中倉・日向地区と、新規に因原地区の一・三八平方キロメートルを調査する予定です。

地籍調査の早期完了に向けて、関係者のご協力をいただき事業の推進を図ります。

『町税等について』
所管 住民課
長引く景気低迷により、税収の伸び悩みが懸念されます。平

成十七年度の決算徴収率は確定しておりませんが、平成十七年度の徴収率を上回るよう努力して参ります。

また、平成十八年度は滞納者、滞納額とも減らすよう努力し、町税の収入アップに繋がるよう取り組みます。

『町営住宅の使用料』
所管 住民課
住宅料については、入居者との対話及び、現状の深い理解をいたでて徴収率の向上を図ります。これにより入居者との信頼関係を大事にしていき、平成十八年度はより一層滞納額の圧縮に努め、過年度の滞納額も減らせるよう努力して参ります。

『こども安全センターの設置』
所管 教育課
幼い子どもが犠牲となる痛ましく悲惨な事件が相次いで発生し、家庭・地域・学校・行政・警察が相互に連携し、子どもたちの安全を守る取り組みを強化・拡充することが喫緊の課題となっています。

『川本高校の支援』
所管 教育課
川本高校と邑智高校の統合が平成十九年四月で準備されています。統合までには、種々検討すべき事項が想定され、本町の重要な教育機関として、厳しい財政事情ではありますが、これから統合されるまでの間、新生の統合高校に相応しい教育環境になるよう、地元として可能な限りの支援策を引き続き講じました。

『平成十八年度当初予算』
所管 教育課
一般会計予算について、予算編成にあたっては、当初から多額の財源不足が予測されることから、徹底した超緊縮型予算の名の下に予算編成方針及び厳しい目標設定をし、最終的に二億七千六百五十五万四千円の財源不足が生じ、これを財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金の公共施設維持管理基金などの取崩しで対応しました。

こうした結果、平成十八年度の一般会計の予算規模は、三億七千四百七十五万二千円となり、平成十七年度当初予算額と比較しますと、〇・五%の減となっています。

川本町では子どもたちを犯罪などから守り、安全を確保するために、川本警察署と川本町、教育委員会の三者で「子どもの安全対策に関する協定」を二月一日に結びました。



今後は、地域総ぐるみで犯罪の発生を防止する環境づくりを進めるため、次世代サポートセンター内に設置した「こども安全センター」を核にして、青少年健全育成町民会議や学校防犯ボランティア会などと連携を強化し、拡充を図ります。

平成十八年度当初予算

平成十八年度の当初予算の編成にあたっては、職員定員の削減等による人件費総額の抑制や、各種事業費の削減など、歳出全般にわたる見直しを徹底し、財政改革を強力に推進しました。

一方、健康教育の推進や観光推進、農業振興など、社会情勢の変化に伴い緊急な対応を要する課題については、厳しい財政状況の中であっても、重点的に取り組みました。

一般会計予算について、予算編成にあたっては、当初から多額の財源不足が予測されることから、徹底した超緊縮型予算の名の下に予算編成方針及び厳しい目標設定をし、最終的に二億七千六百五十五万四千円の財源不足が生じ、これを財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金の公共施設維持管理基金などの取崩しで対応しました。

こうした結果、平成十八年度の一般会計の予算規模は、三億七千四百七十五万二千円となり、平成十七年度当初予算額と比較しますと、〇・五%の減となっています。

予算規模は、簡易水道事業特別会計が二億五十二万円で対前年度比四四・八%の増、農業集落排水処理事業特別会計が九千二百七十二万五千円で対前年度比二〇・七%の増となっています。

次に、国民健康保険事業特別会計、老人保健事業特別会計については、国民健康保険医療費、老人保健医療費ともに微増の状況ですが、一層の医療費適正健全化に努めることとしています。

予算規模は、国民健康保険事業特別会計が四億六千四百九十六万九千円で対前年比三・三%の増、老人保健事業特別会計は八億六千一百一万九千円で前年比二・二%の増となっています。

次に、簡易水道事業特別会計について、簡易水道事業特別会計当初予算で、三谷統合簡易水道工事予算を計上しています。また、農業集落排水処理事業特別会計当初予算で、中継ポンプ維持管理業務費予算を計上しています。

まちの話題

イズモコバイモで大賑わい!

今年も島根県だけに自生するイズモコバイモ（ユリ科バイモ属）が山崖斜面一面に可憐な花を咲かせました。これは昨年から本格的な保護活動を実施している川本町自然大好きネットワーク（堀川俊雄代表）のみなさんによるもので、県内外の愛好家が多数押し寄せ、スプリングエフエマラル（春の妖精）と呼ばれる可憐な姿を写真などにおさめていました。※川本町谷戸地区には国内最大規模のイズモコバイモの自生地が専門家により確認されています。



3回行われた観察会では地元谷戸自治会のみなさんが大活躍

湯谷温泉リニューアルオープン

4/1

湯谷温泉弥山荘が新たな魅力を備えリニューアルオープンしました。これは町有施設の指定管理者制度導入によるもので、今春から株式会社江ノ川開発（山口嘉夫社長）が運営管理を行います。新たな魅力として、待合いスペースの拡大、中庭へのウッドデッキの新設、川本町の歴史的資源や美術品を展示したシルクロード展などです。町内外の皆様にご

利用いただけることを期待しています。（※以上五百円、六十五歳以上・身体障害者三百五十円、小学生二百五十円。一日に何度でも入浴出来ます。）



森に関わる優れた技術を極めた松田直美さん

社団法人国土緑化推進機構認定の「森の名手・名人百人」に松田直美さん（畠野）が認定されました。「森の名手・名人百人」とは森林を護り、育て、活かして持続的に循環させることの重要性を広く訴える活動の一環として、平成十四年度から森に関わる優れた技術を極めた他の模範となつている達人が認定されています。

の松田直美さん（畠野）が「森の名手・名人百人」に認定



リニューアルオープンを記念してのテープカット

県の地方機関が変わります。

4月1日に実施した県地方機関の再編については、広報かわもと2月号、3月号でお知らせしていましたが、今月は最終回として、住民の皆さんに關係ある主な窓口業務についてお知らせします。2月号3ページと3月号3ページと一緒にご覧ください。

～地方機関再編により変わる主な窓口業務～

【川本総務事務所】

→西部県民センター（浜田合庁内）に変わります。

- 県税の申告書（不動産取得税や法人事業税など県税の申告書の提出や相談など）
- 県税の減額、減免の相談（住宅用土地や収用代替土地の取得時の相談など）
- 《注意》自動車税の身体障害者減免、県税の納税証明書の発行や窓口収納、旅券の申請・交付は従来どおり川本合同庁舎2Fで対応します。

→西部人権啓発推進センター（浜田合庁内）に変わります。

- 人権問題の相談

→西部県民センター県央事務所（大田・あすてらす2F）に変わります。

- 情報公開請求・県文書の閲覧
- 政治団体の届け出、相談

※上記2業務は、県民センター及び県民センターの県央以外の圏域事務所でも対応可能です。

【川本森林振興センター】

→西部森林振興センター（浜田合庁内）に変わります。

- 農地転用の許可申請、エコファーマー・エコロジー農産物の認定申請
- 保安林の指定・解除申請

【問い合わせ先】 島根県川本総務事務所総務グループ（☎ 72-9505）

おすすめの本

【子ども向き】

「きっと天使だよ」 ミーノ・ミラーニ作 関口英子訳
アフリカを舞台に、戦争のむごさと人間愛をえがいた奇跡の物語。「チエント賞」「リブリ・インフィニティ賞」受賞作。
(小学校高~中学生向き)(鈴木出版)

「バラ咲くじゅうたんのあるところ」 ロナルド・ハイムラー絵 ルクサン・カーン作
アフガニスタンの難民キャンプに住む少年の夢と現実を描いた絵本。

「おとなりさん」 高畠純絵 きしらまゆこ作
にわとりは、となりに誰かが引っ越してきたと知ってうれしくなりました。でも、おとなりさんが、なかなか姿をあらわさないので、手紙をドアにはっておくことにしました。おとなりさんは、いったい誰なのでしょうか?
(幼児向き)(BL出版)

【一般向き】

「オソリーワン—ずっと宇宙に行きたかったー」 野口聰一著
宇宙飛行士の著者が、候補生として認定されてから旅の実現までの道のりを語る。

「ヤンキー先生の子供がわからない親たちへ」 義家弘介著
ヤンキー先生の名前で有名になった著者が、体験を通して語る「親論」。

「筋違い半介」 大飼六岐著
時代小説。「小説現代新人賞」受賞作。
その他たくさん入りました。



ぶつくん だより

No. 108

4月23日川本町読書の日!!

○展示貸出「おすすめしたいこの1冊」

期間: 4月15日~5月14日

かわもと図書館がおすすめする本を年齢対象別(乳幼児、小学校低・中・高学年、中学生、高校生、一般)に展示貸出します。感動や知識を体の中にたっぷり入れましょう!

○「4月23日は家族みんなで読書タイム」

子どもが本好きになるためには、大人が読書をする姿を見せることが大切です。読書は、人生をより深く生きる力を身につけさせてくれます。

子どもの読書活動についてと推薦本のリストを掲載したリーフレットを保育所・学校を通じ保護者に配布します。また、図書館・公民館でも配布しますので本選びの参考にしてください。

【ゴールデンウィーク期間中休館日】

4月29日(土) 30日(日) 5月2日(火)3日(水)5日(木)

教育委員会

こんにちは、カリンです！

英語指導助手として、ドイツから川本町へ
やって来たカリンさんの日本滞在記

さよならの時

卒業式や異動の時季を迎えました。学校では卒業式の準備で大忙し、当日は“さよなら”を言うのに大忙し。感動的でみんな涙ぐんでいました。川中の3年生ともお別れ。3年生はとても“ゲンキ”な生徒、心から愛しています。みんながんばって!夢がかないますように!そして、小学校の6年生と中学校で再会できる日を楽しみにしています。英語を楽しく学んでほしいと願っています。

先月最も驚いたことは公務員の異動システム。先生が学校を異動すると聞いてはいましたが毎年4月に定期的に行われるとは知りませんでした。もっと驚いたことに公務員や色々な人が勤務場所を替わることです。

どうやって知った? とても簡単。新聞に異動名簿が載った後、先生や公務員が学校に、“さよなら”を言いに来て、“お世話になりました”といわれたのです。とても悲しい! (カナシカッタ!!!)

次に来るのは誰? 異動で来た公務員が学校に挨拶に来られます。そしてよろしくお願ひしますと言

われます。とても興奮します!

最も楽しんだことは? 歓送迎会です。日本の食べ物は大好き。同僚の人達と話すことも大好き。日本語の練習するにはとてもいい機会です。(少なくとも私は挑戦していますが...) タノシカッタ!

でも、“さよなら”というのはいつも悲しい。

ALTの友人とフィリピンのセブ島に行きました。金曜日の朝、川中に行く途中にある温度計は4度。土曜日の朝マニラに着いた時は34度。すごい温度差。長く寒い冬の後の暖かさを心底楽しみました。大半を海岸やハンモックに寝そべり、ココナッツの実が落ちてきて殺されないように祈りながら過ごしました。もう少しのところで、友人に起ころと/orでしたか…泳いだり、シュノーケリング、読書、トロピカルフルーツ、観光、とてもすばらしい時間を過ごしました。

夏は大好き! 浜辺も大好き! そして、ここ島根の海水浴シーズンが待ち遠しいです。でもその前に、桜の花見を楽しむのはもちろんのことです。



【土地】川本 1186 - 1

地目：宅 地 面積：248.94 m²

【土地】川本 1186 - 8

地目：雑種地 面積：97 m²

【建物】木造平屋建



■物件②

川本町大字川本 303 - 7 (旧日の出県職員官舎)

【土地】川本 303 - 7

地目：宅 地 面積：242.62 m²

【建物】木造 2 階建



問合せ 役場総務課

☎ 72-0631

大田圏域健康長寿しまね推進委員の募集

大田圏域健康長寿しまね推進会議では、健康長寿日本一を目指して39の団体と4名の一般公募委員で、健康づくり対策に取り組ん

でいます。

この度、委員の任期満了にともない一般公募委員を募集することと致しました。様々なご意見、アイデアのある方の応募をお待ちしています。

活動内容は推進会議を中心に健康づくりの対策を考えたり具体的な事業を行ったりします。

■応募資格：大田市または呂智郡にお住まいで、健康づくり活動に関心のある方。

■任期：平成20年3月末まで2年間。

■締切：4月28日(金)

問合せ

県央保健所健康増進グループ

☎ 0854-84-9828

くらしの情報 カレンダー 4/20～5/31

4/20 (木)	■妊婦・乳幼児・成人健康相談(10:00～) すこやかセンター
21 (金)	
22 (土)	■インフォメーションセンター かわもとリニューアルオープン
23 (日)	■川本町読書の日…11頁
24 (月)	⑤ペットボトル収集(川本北) ■児童家庭相談(10:00～) 次世代サポートセンター
25 (火)	
26 (水)	■ポリオ予防接種(14:00～) すこやかセンター
27 (木)	
28 (金)	■胃がん検診(7:30～) 北公民館
29 (土)	
30 (日)	■ひだまりサロン(10:00～) すこやかセンター
5/1 (月)	⑥資源物・不燃物収集 (三大字・多田・久座仁・谷戸・ 三島・笹畑・因原)
2 (火)	⑦資源物・不燃物収集 (因原を除く川本南)
3 (水)	⑧笹畑クリーンセンター直接搬入受入日
4 (木)	

5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	
8 (月)	⑨資源物・不燃物収集(西・八幡・三原・田窪・南佐木・親和・湯谷・三俣)
9 (火)	■精神ディケア(9:30～) すこやかセンター ■転倒予防教室(9:30～) 尾原高齢者センター
10 (水)	■三原健康相談 北公民館(9:30～) 親和集会所(10:45～) ■転倒予防教室(13:30～) 三大字集会所
11 (木)	■乳幼児健診(13:00～) すこやかセンター ■断酒会(19:00～) すこやかセンター
12 (金)	■転倒予防教室(13:30～) 親和集会所
13 (土)	
14 (日)	■石見ライド本大会
15 (月)	⑩紙容器包装収集(川本北)
16 (火)	⑪紙容器包装収集(川本南) ■心の健康相談(13:30～) すこやかセンター
17 (水)	⑫ペットボトル収集(川本南)
18 (木)	
19 (金)	■基本健康診査(8:30～) 三大字集会所

20 (土)	
21 (日)	■こども読書会in音戯館フェスティバル…11頁 ■健康づくり親睦ゲートボール大会(川本西小)
22 (月)	⑬ペットボトル収集(川本北) ■児童家庭相談(10:00～) 次世代サポートセンター
23 (火)	
24 (水)	
25 (木)	
26 (金)	■妊婦・乳幼児相談(10:00～)すこやかセンター
27 (土)	■老人クラブ連合会クロリティー大会
28 (日)	
29 (月)	
30 (火)	
31 (水)	

『4月の納税』

軽自動車税・固定資産税

5月1日(月)まで

町税は必ず納期内に納めましょう

『5月の納税』

国民健康保険税

5月31日(水)まで

《今月の予防接種》三種混合

体調を整えて、接種しましょう！

情報 じょうほう こうさてん 交差点

町の人口

男 1,984人 (2,048)
女 2,215人 (2,256)
計 4,199人 (4,304)
うち65歳以上 1,609人 (1,604)
うち15歳未満 418人 (436)
世帯数 1,878戸 (1,924)

平成18年4月1日現在の住民登録による
()は前年同月



暮らし

ハローワーク川本の紹介

川本公共職業安定所ではお仕事を探している方に次のサービスを提供しています。お気軽にご利用ください。

■求人情報誌「フレッシュ」

毎月10日、20日、30日に発行する情報誌。町内では次のところで自由にお持ち帰りができます。

- ・ハローワーク川本(閉庁時も可)
- ・役場
- ・石見川本駅

■テレフォンサービス

いつでも最新の求人情報を電話で聞くことができます。(毎月10日、20日、30日更新)

☎ 72-2503

■ハローワークインターネットサービス

全国のハローワーク求人情報をインターネットで調べることができます。アドレス <http://www.hellowork.go.jp/>

■求人情報の提供

求職の申込みをされている方に、希望条件にあった求人を郵便や電話などでお知らせしています。

問合せ ハローワーク川本
☎ 72-0385

町ホームページリニューアル

川本町のホームページを使い易く、見やすくするために度リニューアルしました。

広報紙で使用している写真もカラーでご覧いただけます。是非ご活用ください。

問合せ 役場政策推進課

☎ 72-0636

川本町地域包括支援センターオープン

介護保険、介護福祉などの総合窓口として「川本町地域包括支援センター」を役場健康福祉課内に開所しました。介護や福祉に関する相談や、介護保険の手続きなどを気軽にご利用ください。なお、これまでの川本町在宅介護支援センター(やすらぎ荘内に設置)は、このセンターに引き継がれます。

問合せ

川本町地域包括支援センター
(健康福祉課内)

☎ 72-0633

国民年金

■国民年金保険料の納付猶予制度

日本に住む20歳から60歳の方は国民年金に加入しなければなりません。学生も20歳になると国民年金第1号として加入し保険料を支払う義務があります。

しかし、収入が基準以下の学生及び30歳未満の方は保険料の納付が猶予されます。(学生納付特例制度、若年者納付猶予制度)この制度を受けていないと、未納のまま2年を経過した保険料は追納ができません。また万一のときの障害基礎年金が受給できませんので、この制度に該当する方は必ず申請してください。

■国民年金の種別変更の手続き

国民年金の加入者は3分類に分かれており、加入種別が変更になった場合は役場への届出が必要です。

○第1号被保険者: 学生、自営業者等

○第2号被保険者: 会社員、公務員等

○第3号被保険者: 会社員等に扶養されている配偶者

例1) 会社を退職し休職中、または自営になった…第2号から第1号へ変更届

例2) あなたを扶養している配偶者

者が会社を退職、または自営業者となった…第3号から第1号へ変更届

例3) 学生、または自営業者が20歳になった…第1号に加入

■年金給付額の改定

平成18年度老齢基礎年金給付額(満額の場合の年額) 792,100円
(前年度より0.3%減額)

※平成17年の年平均の消費者物価指数が、対前年比マイナス0.3%のため

■保険料額の改定

平成18年4月からの保険料
月額 13,860円

(月280円の引き上げ)

※保険料は平成29年度まで毎年月額280円引き上げられ、最終的に月額16,900円になる予定です。

問合せ 役場住民課

☎ 72-0632

募 集

広報かわもと地域記者

地域の情報を広くみなさんに知ってもらうため「地域記者」を募集します。広報紙へ記事を掲載してみませんか。

内 容 原稿(100字程度)と写真を毎月2、3記事提出していただきます

謝 礼 毎月3千円程度

募集人数 3名

申込み・問合せ

役場政策推進課

☎ 72-0636

町有地の土地と空き家を売却します

町では2件の物件を入札により売却します。入札参加を希望される方は役場総務課にある「入札参加申込書」に記入してお申し込み下さい。

現地説明会 5月10日(木)

申込締切 5月18日(木)

入札日 5月25日(木)

※川本町HPにも参加案内・写真を掲載しています。

■物件①

川本町大字川本1186-1・1186-8(旧職業安定所官舎)

子ども歳時記 - file 54 -



元気再生ウォークで仙岩寺にあがりました。悠邑ふるさと会館からグルッと久座仁を回り、石段を頑張って登りました。境内から見える遠くの山々、雄大に流れる江の川などいつもとは違う目線での町の風景はとても美しかったです。

photo : 2006.3.4 仙岩寺にて



次回はそんな親友の一人白衣の天使Yちゃんへバトンタッチ。出会つてきた人、そしてこれらから出会う人を大切にしたいと思います。

私は十年前に大阪からこの川本町へ嫁いで来ました。来た当初は友達と呼べる人もおらず頼れるのは主人と主人の家族だけ。二十二年間大阪弁で育つてきた私の耳に飛び込んでくる川本弁も「一体何語?」とちんぷんかんぶん状態でした。でも次第に同じ大阪から嫁いで来られた方や、子供が生まれると子供を通じての友達が徐々に増え、気付いたらすっかり

大阪弁の出ない私になりました。年に一度の『ええなあまつり』で手を振る程度の人が、今ではバカ騒ぎするぐらい仲の良い友達になつたり、その友達と知り合うことにあります。子供達が保育所や小学校で友達を作るようになります。当にたくさんの友達ができました。私の趣味、それは「人との出会い」だと思っています。今まで

**リレーハッセイ
私の趣味
「出会い」**

72 河田 嘉代

—川本町下新町—